



令和3年度卒業証書授与式を挙行しました

小雨の降る寒い日となりましたが、3月23日（水）無事に本年度の卒業式を行うことができました。本年度も、規模を縮小しての開催となりましたが、5年生の力を借りて、歌やメッセージを織り交ぜながら、心温まる式を行うことができました。5年生は、来年自分たちがどのような姿で卒業していくのかイメージができたと思います。各学年からのメッセージも上映し、6年生は一つの節目として、中学校へ向かう心の準備ができたのではないかと思います。協力してくれた在校生のみなさん、ありがとう！6年生が歌った「いのちの歌」の一節で、とても好きな部分があります。

卒業式のような節目に、改めて家族や身近な人たちとの縁や「命」について考えさせられます。

6年生のこれからの活躍を心から祈っています。



いつかは誰でも この星にさよならを
するときが来けれど 命は継がれてゆく
生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと 笑ったこと
そのすべてにありがとう この命にありがとう

前途洋々

令和3年度もたいへんお世話になりました

24日（木）は、本年度最後の登校日となりました。無事にこの日が迎えられたのも、保護者の皆様、地域の方々のご協力あってのことです。最後に、修了式で、児童には次のような話をしました。

- ① あいさつが少しずつ上手になりました。中には、いつ会っても大きい声であいさつをしてくれる人たちもいました。校長先生も、とても元気が出ました。本当にありがとう。あいさつは、自分から相手に心を開き、気持ちのよい人間関係を作るために一生欠かせないものです。大人になって仕事をするようになってからも同じです。ずっと気持ちのいいあいさつができる人でいてください。
- ② お友だちのことや周囲の人のことを考えて発言したり行動したりする人が増えました。これは、担任の先生方から、たくさんいいお話を聞きました。南小には心の優しい人が多いと思います。でも、気を付けないと「正しいことが通らないクラス」になってしまいます。頑張る人、思いやりのある人が「かっこいい」という学校にこれからもしていきましょう。

次に、4月からもっと頑張ってほしいことを言います。

- ① まず、みなさんには、自分の考えを相手に分かるように伝えることを心がけてほしいと思います。授業ではもちろんのこと、普段の生活の中でも、です。校長先生から、「伝えたいことが分からないから、もう一度説明してください」と言われた人がたくさんいます。きちんと伝える力を付けしないと、お互いのことが分からないばかりでなく、不便だな、と思うことがたくさん出てきます。言いたいことを整理し、きちんと伝えられる力を付けてください。
- ② 二つ目は、家庭学習を頑張ることです。冬にみなさんに取ったアンケートでは、「家庭学習をがんばっている、計画を立ててやっている」と答えた人があまり多くありませんでした。小学校では、大人になっても、生活の中で困らないような大切な勉強をたくさんしています。授業でもおうちでも、集中して学習するという習慣を付けてください。

これから春休みに入ります。どんどん温かくなって気がゆるみがちになります。事故に気を付けることはもちろんですが、新しい学年で頑張りたいことを考えて目標を立て、準備に励む時間にしてほしいと思います。

次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

